

万年青  
おもと



九州シニアライフアドバイザー協会

会報

第 105 号

## 第 38 回 全国一斉特設電話相談

### 「シニアの悩み 110 番」開催

恒例「春の全国一斉電話相談」が、下記の通り開催されます。  
会員の皆様の積極的な参加とご協力をお願いいたします。

#### 記

日 時 平成 27 年 3 月 28 日（土）～29 日（日） 午前 10 時～午後 5 時

場 所 福岡市中央区今泉 2-4-24-905  
九州シニアライフアドバイザー協会内 電話相談特設会場

電 話 092-738-4832（2 日限りの特設電話）  
092-738-0616

#### ❖相談内容

シニアの不安・悩み全般に関する事項

#### ❖サブテーマ

「明日への一歩は電話相談から」

#### \*会員皆様へのお願い

1. 同封の電話相談開催チラシを地元や各種活動団体へ配付し広報活動下さい。

2. 事前研修会へご参加下さい。

（詳細は同封の事前研修会開催案内を参照）

3. 相談員として 3 月 28 日～29 日ご都合の良い日時にご参加下さい。

シフト編成が難しくなっております。会員の皆様の積極的なご協力をお願いします。

（詳細は同封の相談員募集案内を参照）



2014 年秋の電話相談の様子

# 急募

## ☆受付業務要員 募集！70 歳現役応援センター☆

九州 SLA 協会は福岡県 70 歳現役応援センター開所時から、ご指名により「来所者の受付業務」の受託契約をさせて頂き、センター長や職員・相談員の親切なご指導により 3 年間の実績達成を目前にしております。

現在 8 名のメンバーで勤務シフトを編成していますが、ギリギリの陣容で各人への負担が大きく、特に急病・急用時の緊急対応が手薄になっております。

受付業務は、来所者が安心して気軽に相談に来られるような心配りが求められ、SLA で学習したことを実践する最適な現場であり、また高齢者の就業や社会参加の現実を見聞し、示唆を受ける事例も多く SLA として貴重な学習の場にもなっております。

1 回当たり 4 時間 15 分、毎月 3～4 回の勤務を基準に「受付業務要員」として是非参加して頂きますようお願いいたします。（勤務体制は下記の通り。出勤回数については柔軟にご相談に応じます。）

◇ 勤務地：福岡市博多区博多駅東 1-1-33 はかた近代ビル 5 階

JR 博多駅筑紫口、又は西鉄バスターミナルから徒歩 3 分

◇ 勤務時間 ◎午前：9 時 30 分～13 時 45 分 ◎午後：13 時 45 分～18 時 ◎終日でも可

◇ マニュアルに従って主に下記の作業をする。 平均来所者 1 日計 10～20 名

◎受付簿記載 ◎相談員コーナーまで来所者案内 ◎日報作成等

◇ 必要人員：3 名の増員

月間勤務日数 22 日（44 回）、1 人 4 回勤務として 計 11 名必要。

（現在 8 名のため 3 月分は 7 回出勤 2 名 6 回 4 名 4 回 1 名 2 回 1 名のシフト）

◇ 参加申込みの方は福与、松原にご連絡下さい。詳細ご説明します。



## 運営会議報告

事務局長 山崎 正弘



### 1・2 月度の運営会議を報告します。

1 役員選考委員会から、委員会を開催し選考要領及び役員候補者を討議し、各役員候補者に対するこれまでの折衝過程が説明されました。

2 役員選考要領を新たに規定するための協会会則の一部改正案及び関連する細則の制定案を審議し、原案について修正を経て了承されましたので、案として総会に諮ることにしました。

3 春の全国一斉電話相談会及び事前研修会の実施要領について説明がありました。また、後期全体研修会は 3 名の方にお越し地域での活動状況等を報告していただくことになりました。何れについても開催案内文書が、3 月 1 日発行の万年青誌と共に同送されますのでご覧になって是非 参加下さい。

4 総会に向けて各自研報告書及び自主研の新年度の計画を 3 月 20 日頃まで提出方、事務局からお願いがありました。また、会計監査を 4 月 4 日（土）に予定したい旨の発言がありました。

5 支援室から、旧会員への万年青 104 号(新年号)の送付を逐次進めている旨の報告がありました。

## 第33回「茶の間からのジェロントロジー」

監事 先川 祐次

### 電気が元気をくれる高齢社会へ



世は情報通信技術（ICT）の時代、携帯電話はもう古いとばかり、スマホ全盛、地下鉄、バスはもちろん横断歩道を渡るときも端末から目を離さない若い人たちを見ると年寄りについていけない心地がします。しかし見方を変えると、スマホ全盛はこれからの不老長寿社会の在り方を予告している社会現象でもあるのです。

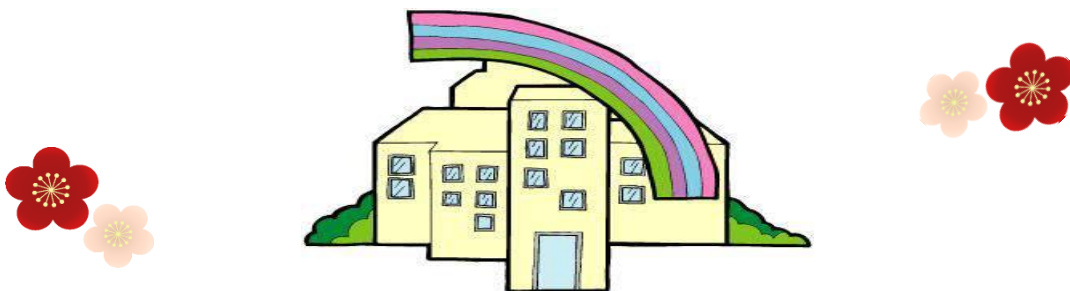
戦後、電気洗濯機や冷蔵庫などの家電製品が家庭生活を飛躍的に便利にしたように情報通信技術が高齢社会を便利で安心、安全な環境にかえていく主役を演じるようになります。まず齢をとると足腰が弱くなり動く範囲が狭くなるのは避けられません。

その課題を解決してくれるのが自動車の自動運転技術を応用した一人用の移動機具です。ハンドルはなく、自分の体を動かせば思うとおりに反応して動いてくれるので安全で

安心、杖をついたり車いすに乗ったりする必要もなくなります。衝突する危険もなく、小型なので交通渋滞も起こしません。認知症のお年寄りが徘徊する悩みも解決されます。プライバシーの問題がなければ今でも可能ですが、体に着けた小さなチップが出す信号で居場所がわかるからです。

さらに進んで、ちょうどクルマのナビゲーションのように街の各所に埋め込まれたチップとの自動交信で本人が意識しなくても歩いているうちに帰宅できるようになります。家庭用ロボットも売り出され始めていますが、これから一人暮らしの高齢者でも便利で安心、安全な生活環境を提供するパートナーとして活躍し、学習機能もあるので高齢者がいろいろ教え込む勉強相手にもなり、孤独死防止も期待されます。

家族にとっても出先からいつでもロボットを通じて自宅の様を見たり、家事の指示をだしたりできるので介護の負担も軽くなり安心して仕事に集中できるでしょう。健康管理も体に着けたチップが血圧や心拍数はもちろん、体内の循環状態を常時発信し医療機関とつながっているのでも健康診断を受けながら行動しているようなかたちになりそうです。





## 自主活動研究会平成 27 年 3 月・4 月定例会スケジュール

自主活動研究会	3 月	4 月
一気会	6 日（金） 11：30～	3 日（金） 11：30～
福祉研究会	5 日（木） 14：00～	4 日（木） 14：00～
ジェロントロジー研究会	14 日（土） 10：30～	11 日（土） 10：30～
高齢者制度研究会	11 日（水） 14：00～	14 日（水） 14：00～
食育研究会	未定	3 日（水） 13：30～
生活総合研究会	17 日（火） 14：00～	21 日（火） 14：00～

\*生きがい研究会は休会中

## 26 年度後期 全体研修会

26 年度後期の全体研修会が下記の通り開催されます。

会員皆様の積極的なご参加をお願いします。



### 記

日 時 平成 27 年 3 月 14 日（土） 13：30～16：30  
 会 場 ココロセンター 研修室 福岡市中央区舞鶴 2 丁目 5-1  
 あいれふ 8 階 赤坂から徒歩 5 分

- ◇ 研修内容 講話「生涯学習と SLA」・・・先川祐次氏
- ◇ 地域または特異分野での活動報告・・・久富シゲ氏、平田孝行氏
- ◇ 活動報告に関する質疑及び自由討議・・・全員



### ◆お 願 い

万年青 105 号に同封の 26 年度後期全体研修会案内をご参照の上  
 3 月 6 日（金）まで 事務局長あて参加申込み下さい。





## 電話相談の事前研修会

春の電話相談の事前研修会が下記の通り開催されます。会員の皆様の参加とご協力をお願いいたします。【担当窓口：事務局（電話相談担当）支援室、一気会、生活総合研究会】

記

- ◇ 日 時 : 3月21日（土）13:30～16:00
- ◇ 場 所 : コロンセンター 研修室 福岡市中央区舞鶴2丁目5-1  
あいれふ8階 赤坂から徒歩5分
- ◇ テーマ : ①重要な制度変更等（相続税、年金、介護保険料 etc）  
②過去の相談事例研究



## 第 18 回 通常総会

第 18 回通常総会が下記の通り開催されます。  
会員皆様の積極的なご参加をお願いします。

記



- 日 時 : 平成 27 年 4 月 18 日（土）
- 場 所 : コロンセンター 福岡市中央区舞鶴 2 丁目 5-1  
あいれふ 8 階

\* 詳細については後日ご連絡いたします。



## ココロンセンターが移転しました。

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴2丁目5番1号 あいれふ 8階  
TEL: 092-717-1237

■開館時間／10:00～21:00まで(日・祝日は17:30まで)

■休館日／毎月最終火曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始(12月29日～翌年1月3日)

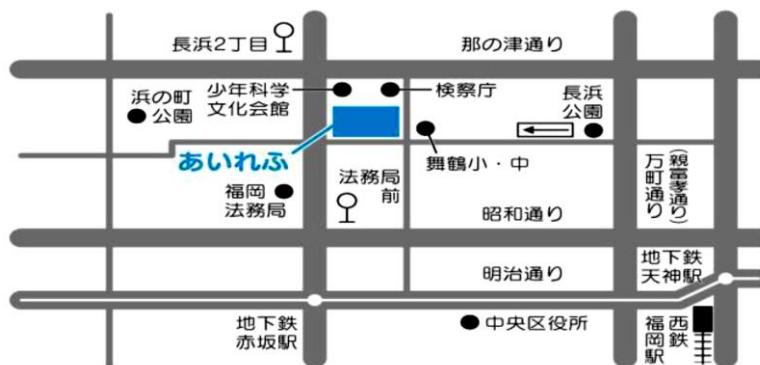
●福岡市市営地下鉄／「赤坂駅」下車3番出口

●西鉄バス

那の津通り「長浜2丁目」バス停より  
徒歩約3分

昭和通り「法務局前」バス停より  
徒歩約5分

●地下有料駐車場  
100円／30分  
50台／台数





## トピックス

### 『 縁 』

高齢者制度研究会 世話人 佐野敬子

研究会当初のメンバーから現在迄 4 人減り、新たに 3 人増え (私も途中参加の 1 人です^\_^;) 現在 7 名となりましたが、仕事等活躍中の都合から定例会は現在殆ど 3~4 名で実施しています。

勉強会の内容は決まっていますが、その時々々の情報や資料でいろいろな角度からの勉強会となる事が多く、毎月 2 時間がとても短かく、楽しく、貴重な定例会です

諸事情で研究会・協会を辞められた各メンバーとも同じ SLA としての縁は切れる事はなく、近況等が時として話題になります。

「退会後、現職の時から世界中に足を運ばれたエピソードをまとめ出版され、現在もお元気に素敵な旅を重ねておられる方」

「大病をされ現在大変なりハビリを終え、前向きに少しづつ確実に社会復帰を頑張られている方」

「奥様の介護が必要となり主夫となり、現職中仕事とはいえ家を空ける事が多かった時間を埋めるように、奥様へ寄り添い頼もしく、優しい時を重ねておられる方」

「ケアマネジャーの資格を取得され、福祉の

お仕事で活躍、以前に増して穏やかなオーラを輝かせている方」

それぞれに活躍の場は違いますが、今年の新年会は高齢者制度研究会だけではなくお声掛けて集いました。

急な世話人からの発案と言う事もあり、残念ながら全員集合とはなりませんでしたが、都合出席が叶わなかった方達から「大変残念です！是非次回も声かけて欲しい…」とのお話もいただき、何年か振りにお逢いした方達とも歓談は尽きず、瞬く間に時間は過ぎて行きました。何より、後日談「参加して良かった！」「新たな活力を貰った！」「また次回も…！」とのメールをいただき心から嬉しく、優しい気持ちになりました。

いつまでも素敵な仲間達！また是非集まりましょう！いつまでも SLA の縁で 和が繋がり、仕事に…！地域活動に…！家族に…！今年も頑張れる研究会でありますように。

皆さんも『高齢者制度研究会』の素敵な仲間になりませんか？ (大変手のかかる世話人付きですが… σ(^\_^;)?)



# 《 リレー 仲間だより 》

## 「戦後 70 年まで生きて」

豊前市 1 期生 (再入会) 廣津 直隆

私が 6 歳小学校 1 年生の時です。その当時、私は現在の北九州市八幡西区 J R 八幡駅から南 1 キロの所にある官営八幡製鉄所の煉瓦作りの 2 階建ての社宅に住んでいました。

忘れもしません。昭和 20 年 8 月 8 日午前 8 時頃でした。一軒隣の同級生の長田君と警戒警報が鳴らないかなーと家の前で話していました。当時、警戒警報が鳴ると学校に行かなくてよかったのです。

幸運?にも 8 時 10 分頃、けたたましい警報のサイレンが鳴り響き「ヤッタ!」と、2 人で喜び合い、遊びの相談になり警報が解除されない事を願いつつ遊んでいますと、10 時少し前に空襲警報のサイレンが鳴り響き間髪入れず、敵機来襲の半鐘が鳴り渡りました。

当時、警戒警報は長く 1 回、空襲警報は断続で 3 回、敵機来襲は半鐘が乱打されていました。空襲警報で防空壕に入り退避する事に決まっていた、私も兄弟姉妹 4 人で家の押入れの地下に造られた防空壕に退避しました。今にして考えるに日本の木造家屋の床下に退避壕を作るなんて、焼夷弾が雨のように降り注ぎ、忽ち家は燃え上がり熱くて壕から飛び出して見ると、いたる所に焼夷弾が突き刺さり激しく火を噴いています。訓練通りバケツの水をかけるも消えるものではありません。家は激しく燃え出し小学校の前に造られていた 200 人位が入れる退避壕に兄弟姉妹で退避しました。ところが、警防団が「人の出入りを敵機に気づかれ小学校が攻撃されるので皆、壕から出る」と言われ全員追い出されました。



そこで兄弟とはぐれ、私一人で近くの小糸山の丘に造られた横穴防空壕へ行くと、中から大人が格子状の扉を掴まえ「満員でもう入れない、

外へ行け」と、言って入れてくれません。本能的に山へ逃げようと決め、燃え盛る街の中を防空頭巾を被り、熱くてたまらなくなると、用水桶に飛び込み 警防団の「伏せろ」の声に側溝に飛び込むと、頭の上を燃える畳が飛び越していく。火の中を、およそ 1 時間かけて山へ辿り着き街を見下ろすと、一面火の海、空襲はお昼すぎまで続いた。しかし、火災は午後 4 時頃まで全てを焼き尽くし、下火に成ったので山から家の近くに行くと、煉瓦作りの 2 階建ての我が家は外観異常無いように見えたが、中は空が見えるガランドウ、近くで焼死体をひっくり返す母を見つけ飛びついたのでした。

父は戦地、母は製鉄の構内で働いていて足を負傷していたのですが、兄弟姉妹 4 人の内一番下の私が見つからず母は半狂乱だったのです。私たちは火災を免れた小学校に集合し、お握りを 1 人 1 個ずつ頂き食べました。その

横では、枕木を井形に積み上げその中に焼死体を投げ入れ火葬が行われています。リヤカーで運ばれてきた親子三人の焼死体は三人溶け合っただけになっていて、精神がおかしくなっ



2015（平成27）年3月1日

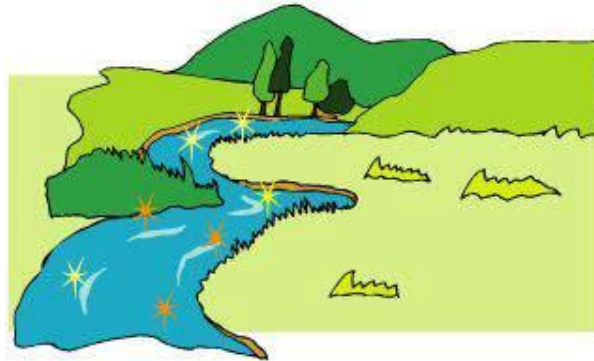
た人、人、私たちは翌日 20 キロ歩いて母親の実家に疎開しました。後日聞いた話ですが、私が入れなかった小糸山の横穴式の防空壕は、入口が爆撃され中にいた数百人は全員亡くなったそうです。現在も慰霊碑が建てられ毎年8月8日に慰霊祭が執り行われています。

最近の世相は、戦争を知らない指導者たちがあの悲惨な戦争に、再び加担しようとした動きを見せ始めました。戦争を体験した私たち高齢者は、これを阻止する義務があるのでは

ないでしょうか。2015 年の年頭に当たり私の体験を記してみました。

私が座右の銘にしている言葉があります。それは「生死有命 富貴由天」この言葉の意味は、生と死は運命によって、富や名誉は神によって定められている、ということ。

一度失ったかも知れない命、シニアライフがあるがままに素直に受け止めようと思います。



### 編集後記

最近、気になったりストレスがたまることがある。PCなどのサポートセンターに問い合わせをしたりするときの自動音声システムである。誰しも1度や2度の経験はあるだろう。まず、コンピューター音声はあまりにも冷たい。その上で「サービス向上のため録音させていただきます」とくる。

ストレス①なかなかつながらない「只今混雑しています」

- ②解決しない
- ③いつかけても 待たされる
- ④自動応答で何番を押せばいいのかわからない、該当する項目がない
- ⑤待ち時間が長い（呼び出し時間が長い）
- ⑥面倒だ。



先日、某スーパーのカードを電話でマニュアルに沿ってキャンセルしようとした。例のごとく自動音声メッセージで該当する番号を誘導する。しかし「解約」の番号がない。聞き間違いかと再度繰り返すもない。どうすればいいのかわからない。結局3回繰り返すも解決せず今だにそのままだが…。経営の合理化と効率化を求めるのは理解できるが、肝心のお客様の立場に立った暖かいハートのある対応がないがしろになっていないか…。それがまず一番だと思うのだが？

【発行者】 九州 SLA 協会会長 末積 洋子  
【編集】 広報委員会 〒810-0021 福岡市中央区今泉 2-4-24-905 号